

# 見積もりから導入まで！ 「スーパー店長」のいる店

自宅陶房を持ちたい人へ、陶芸機器や材料を買うための知識や方法をリサーチしてお届けする連載「自宅陶房計画」。  
第7回目は、見積もりから導入まで、安心して「スーパー店長」にお任せできるお店、道楽問屋・陶楽房を訪ねました。

取材・文／丸山純  
撮影／野田耕一



さわやかな笑顔が印象的な店長の望月さん。



## 道楽問屋 陶楽房

静岡県浜松市にある陶芸材料店。現店長の祖父が創業した教材販売会社・株式会社カメヤ教材が経営母体。カメヤ教材の浜松支店として1998年にオープン。教材販売の他、陶芸、スタンドガラスの道具・材料も取り扱う。陶芸教室・スタンドガラス教室も開催している。

〒430-0803  
静岡県浜松市東区植松町 256-17  
TEL：053-461-0368  
FAX：053-461-0304  
<http://www.tourakubou.com/>



「道楽問屋 陶楽房」の店舗外観。3階建てで1階は教材販売フロア、2階が陶芸道具・材料フロア、3階が教室・工房となっている。

## 始まりは教材販売会社の 浜松支店設立

静岡県・浜松市。東海道本線の浜松駅と天竜川駅の中間地点、典型的な地方都市であるこの地に店舗を構えるのが「道楽問屋・陶楽房」（以下、陶楽房）だ。店長は望月孝志さん。祖父の代より続く教材会社・株式会社カメヤ教材（静岡市）から陶芸材料販売などを含む、浜松支店の「陶楽房」を立ち上げたのは1998年。今年で18年目になる。経営母体のカメヤ教材は幼稚園から大学まで、ジャンルは美術系から理系まで幅広く手がける教材問屋だ。取材で訪れた3月は年度末で店舗は大忙し。そんななか、望月さんにお話を伺いました。

陶芸材料店を始めたきっかけは？  
「教材販売をしている取引先の学校で、学校関係者から『アマチュアの方が陶芸材料を買う場所がない』という声をよく聞いていたんです。それなら店頭で道

具の使い方なども丁寧に教えることもできるお店をつくらう、と立ち上げました」

3年前に事務所をリフォームしたばかりという陶楽房は3階建て。1階は「カメヤ教材」の浜松支店、2階が「陶楽房」の陶芸道具・材料売り場、3階が工房・教室となっている。2階の売り場では陶芸材料の他、スタンドガラスの材料も販売。作品に使用するガラスを1枚1枚直接見て買えることは珍しいため、お客様の熱い支持を得ているそうだ。そして3階の教室では現在、陶芸教室を隔週土曜日、スタンドガラス教室を隔週金曜日に開催している。



株式会社・カメヤ教材は1956年の創業。望月さんの祖父が設立。父親は現在、会長職に就いており、孝志さんの兄がカメヤ教材を継ぎ、孝志さんは浜松支店（陶楽房）を設立、専務取締役・浜松支店長を務める。



陶楽房では中古品も取り扱うのが特長。中古品を目当てに店舗を訪れるお客も多い。随時ウェブサイトに商品をアップしているの、こまめにウェブサイトをチェックすれば、欲しかった商品をお買い得価格で買えるかも。



2階の道具・材料フロア。陶芸道具だけでなく、オープン陶芸やステンドグラスの材料もある、充実の品揃え。

**地方都市でありながら、顧客は全国にその秘密は？**

取り扱う陶芸機材や材料は多岐に渡るが、特に人気なのは「オープン陶土セット」。オープン陶土1kg、延べ棒やモデリングナイフなどの基本道具がセットになったお買い得品だ。

「このセットはコンスタントに売れますね。まず、窯を持たない方がオープン陶土を購入して気軽に小物類をつくり始め、本格的に器などをつくりたいと思うようになってから「陶芸入門セット」を購入されるようです」

お勧めは松栄堂に依頼してオリジナルでつくってもらっている電気窯「TRB・M・4型」、「TRB・J5」の2台。特に前者は大型窯とほぼ同じスペースクを持ちつつも、大きな工事は不要。1台1台、職人の手づくりのため造りはしっかりしていて炉壁も厚いのが特長。

「M・4型は前扉の配線カバーを外せば、本格的な窯でありながら、入り口の幅が72センチあれば、マンションや入り口の狭い工房などへも搬入できます」

そして陶楽房の注目すべき特長は、窯や電動轆轤などの中古品を販売している点だ。客の要望で始めたという中古品の取り扱いは、自社のWEBサイトで常時中古品の買い取りを募集している。買い取る際には品物を実際に見て確認し、状態の良いものだけを買って販売。買収した中古品は「手入れ↓検品↓テスト使用」と自社で厳しくチェック。その後、販売となるので安心して使用できる。

「中古品は人気で、実際に店舗まで見に来られるお客様もいらっしゃいますね」

特に中古の窯は「できるだけ予算は抑えたい」という、独立したばかりの若手陶芸家に人気なのだそう。

陶楽房の顧客は地元が中心だが、北から南まで日本全国幅広い。その秘密を探ると望月さんの意外な一面が……。

それは、望月さん自身が見積もりから導入まで対応してくれること。なんと望月さん、電気工事士をはじめ、クレーン運転士、フォークリフト運転者などの資格を持つ、まさに「スーパー店長」。その資格を活かし、自身が窯の設置のためお客様の「自宅へ出向くのだ」。

「お客様は運送業者が来るものと思っただけです。店長の私が来るとは思っていないので、お伺いすると皆さんビックリされますね（笑）。全国いろいろなところへ行けるのは楽しいですよ。こないだは沖縄まで行ってきました」

見積もりから窯の導入まで1人でできる望月さんは、もちろん機材の説明も手のもの。運送業者に窯の運搬を依頼しても、業者は窯のことを知らない場合が多い。それならば、自身で運び、顧客の要望通りに設置、工事をしたあと、使い方まで説明したほうが良いのでは、と考えて様々な資格を取ったという。顧客にとってはなんとも頼もしい限りだ。

そんな望月さんが実際に道具・材料を購入する際、お客様にアドバイスするのは、まずは「使用説明書をよくお読みください」ということ。具体的には、「電動轆轤を使用している時は濡れた手でスイッチ操作しない」、「焼成中は窯を



2階の材料フロアのステンドグラス売場。メーカーにより同じ品番でも微妙に色味が異なるため、直接確認して買えるのが好評なのだとか。



店長の望月孝志さん。電気工事士、クレーン運転士、フォークリフト運転者など、様々な資格を持つまさに「スーパー店長」。顧客のあらゆるサービスに万全の体制で応える。



教室には電動轆轤が4台。主に使用する大きな電気窯は教室の外に設置。手前にある小さな電気窯は素焼きと上絵付専用だが、すぐ焼きたい、ちよつと使いたい、という時に使える優れものだ。



陶芸教室は隔週土曜日に開催。「先生と場所を提供しているだけで、スタッフと私は作品の管理や窯詰めを担当です。生徒さんには自由に制作していただいています」(望月さん)(写真提供/陶楽房)

「開けない」など。  
「故障や傷みを少なくするのが長く愛用できるコツなので、そのようなこともお伝えしています」

**最初から最後まで見届ける  
トータルサポートを指して**

「売って困る商品は売らない」が信条の望月さん。信用があつての商売なので、購入した後も喜んでいただけるよう、アフターサービスにも力を入れる。例えば、電気窯の熱線が切れた、という連絡があると。そんな場合、お客様自身が修理できるのであれば熱線を送付するが、特に女性の場合は自身で修理できないことも多い。そんな時は望月さんが実際に出向き、修理する。

そうした丁寧なアフターサービスを心がけているため、今までクレームはほとんどないそうだ。

「安心して最初から最後まで制作を見守って差し上げられるよう、いろいろとアドバイスできれば、と考えています。」

お客様に多くの提案ができる、制作のトータルサポートを目指したいですね」  
「地方都市でありながら、地元だけでなく顧客は全国にまたがる。その秘密は様々な資格を持ち、顧客が困った時に駆けつけてくれるスーパー店長がいるからなのだ。」

望月さんは、陶楽房で購入した窯であれば買い替え時に下取りする、といったシステムをつくりたい、と言う。

「そうすれば気軽に新しい窯を買うこともできるのでは、と思うんです」  
スーパー店長はさらなる上を目指す。

いち押し!

### 陶楽房オリジナル電気窯 TRB-M4 型

窯職人が1基ずつ手づくりで組み上げたメイド・イン・ジャパンの電気窯。炉壁が厚いため保温性が高く、焼成後もゆっくり温度が下がるため、粘土・釉薬本来の焼き上がりになりやすい。オプションで還元バーナーを使用すれば、本格的な還元焼成ができる。



TRB-M4 型	
電気容量	単相 200V 20A 4kW
外寸	幅 890 × 奥行 785 × 高 1145mm
炉内寸法	幅 345 × 奥行 350 × 高 370mm (アーチ部の高さ 390mm)
重量	約 250kg
販売価格	432,000 円 (税込)

### 陶楽房オリジナル電気窯 TRB-J5 型

TRB・M-4型よりやや大きめのスペック。同じく日本製。還元焼成用バーナー一式付きで酸化・還元焼成が自由自在。マイコンが側面に付いている TRB・M-4型と違って別置きなので、見やすい位置に置いて使用できる。



TRB-J5 型	
電気容量	単相 200V 25A 5kW
外寸	幅 920 × 奥行 810 × 高 1040mm
炉内寸法	幅 400 × 奥行 400 × 高 500mm
重量	280kg
販売価格	543,498 円 (税込)

※価格は 2016 年 5 月現在のものです。